



# 有事に備え本番さながらに

## 平成30年度(第56回)秋田県総合防災訓練

平成30年度(第56回)秋田県総合防災訓練が、9月2日に市役所周辺や大館能代空港など市内5会場で実施され、地域住民をはじめ指定行政機関、警察、自衛隊、指定地方公共機関など82団体から約1600人が参加し、14種類の訓練が本番さながらに行われました。

**大規模火災防ぎょ訓練**  
花園町・宮前町・東横町・上横町では、地区一帯で火災が発生したことを想定した訓練を実施しました。地区内の数か所で火災が発生し、地域住民が火事ぶれ、通報、初期消火を行ったほか、ポンプ車やはしご車など21台の消防車が地区内に配置され、各消防団が放水して延焼をくい止めたほか、複数の火点に一斉放水し、大規模火災を鎮圧しました。

**避難所開設運営訓練**  
大規模地震により建物やライフラインに甚大な被害が発生したことを想定し、市民ふれあいプラザに避難所を開設しました。避難してきた市民の避難者名簿の作成や、救護室を開設し負傷者への対応を行いました。また、住民同士が協力して段ボールを組み合わせ、居住スペースを確保したほか、避難所には関係機関から備蓄品や支援物資が届けられ、一人一人が役割を分担し、住民が主体となった避難所運営に取り組みました。

**高速道路事故想定訓練**  
川口地区では、大規模地震により高速道路上で多重衝突事故が発生したことを想定した訓練が行われ、高速道路の交通規制および安全確保をし、事故車両から発生した火災の消火と救助活動が行われました。応援に駆けつけた救助隊が負傷者に見立てた人形を用いてトリアージを開始。DMAT(災害派遣医療チーム)が傷病者の安定化を図った後、自衛隊のヘリコプターで搬送しました。

**洪水想定避難行動訓練**  
秋田北鷹高校周辺では、米代川の氾濫危険水位超過を想定した訓練を実施し、浸水想定区域内に避難勧告が発令され、秋田北鷹高校を緊急避難所として開設しました。住民の避難誘導や、避難所への受入れのほか、秋田北鷹高校の生徒がグラウンドに人文字で「SOSブッシ」の対空表示を作成し、上空を飛ばすヘリコプターに救援物資を要請しました。

**自主防災組織発災対応型訓練**  
鷹巣小学校周辺では、鷹巣を震源地とする震度6強の揺れを観測したことを想定した訓練が行われました。自治会単位が集まり、初期消火訓練や倒壊建物等救出訓練、応急救護・搬出訓練を行った後、安全な避難経路を選定し、指定避難場所の鷹巣小学校に避難しました。

**遺体安置所開設運営訓練**  
秋田県立総合体育館で、遺体安置所の開設と運営に関する訓練が行われました。関係機関が連携して、遺体の搬入と検視業務の分担が行われました。

**イオンタウンで行われた防災フェア**  
イオンタウン秋田で、防災フェアが開催されました。防災グッズの配布や、防災に関する相談が行われました。



8・9 高速道路事故想定訓練  
12 遺体安置所開設運営訓練

10 自主防災組織発災対応型訓練  
13 イオンタウンで行われた防災フェア

1 土砂災害救出訓練 2 人文字による支援物資要請 3 救護室を開設 4 大規模火災防ぎょ訓練  
5 支援物資の搬入 6 段ボールで居住スペースを設営 7 シェイクアウト訓練